

学校給食 負担軽減を

小田桐議員
提案

増加する市税活かせば実現できる

県知事選の公約

9月9日流山市議会で、小田桐たかし党市議は、熊谷千葉県知事選の選挙公約に「市町村と共同で学校給食無償化」とあり、その実現に向けた千葉市での試行をうけ、流山市でも学校給食費の無償化実現を求めました。

元年度と比較し、R2年度の市税は14億2259万円増加額から試算しても、1.9%分のやりくりで、第3子無償化を含めた学校給食費の負担軽減への一歩でできます。すぐに試行を始めるべきです」と話しています。

学校教育部長は、「児童生徒数の増加に対応した施設整備が本市の最優先課題であり、現時点では無償化は困難」としつつも、他市を参考に第3子以降の無償化を試算を初めて市議会で公表しました。小田桐市議は、「R2年度市税収入と比較すれば、0.08%。これは、月218円の節約で実現可能です。また、人口増加を背景にR

流山市で第3子の学校給食を無料化した場合の試算

条件	経費試算 (対象者)
第1子が 中学3年生以下	2700万円 (583人)
第1子が 22才以下	7千万円 (1468人)
第1子の年齢は 無制限	1億1千万円 (2282人)

中学校の自転車通学 一緒に考えよう

中学校の新設・移転に伴い自転車通学の問い合わせが増えていきます。学校の場所や通学路の状況で異なることは前提

ですが、市政の都合で学区変更・学校移転を余儀なくされるおおぐろの森中学校及び南流山中学校は、学校から直線距離で1.4〜1.5^キ程度に自転車通学を認めてもいいのではないのでしょうか。

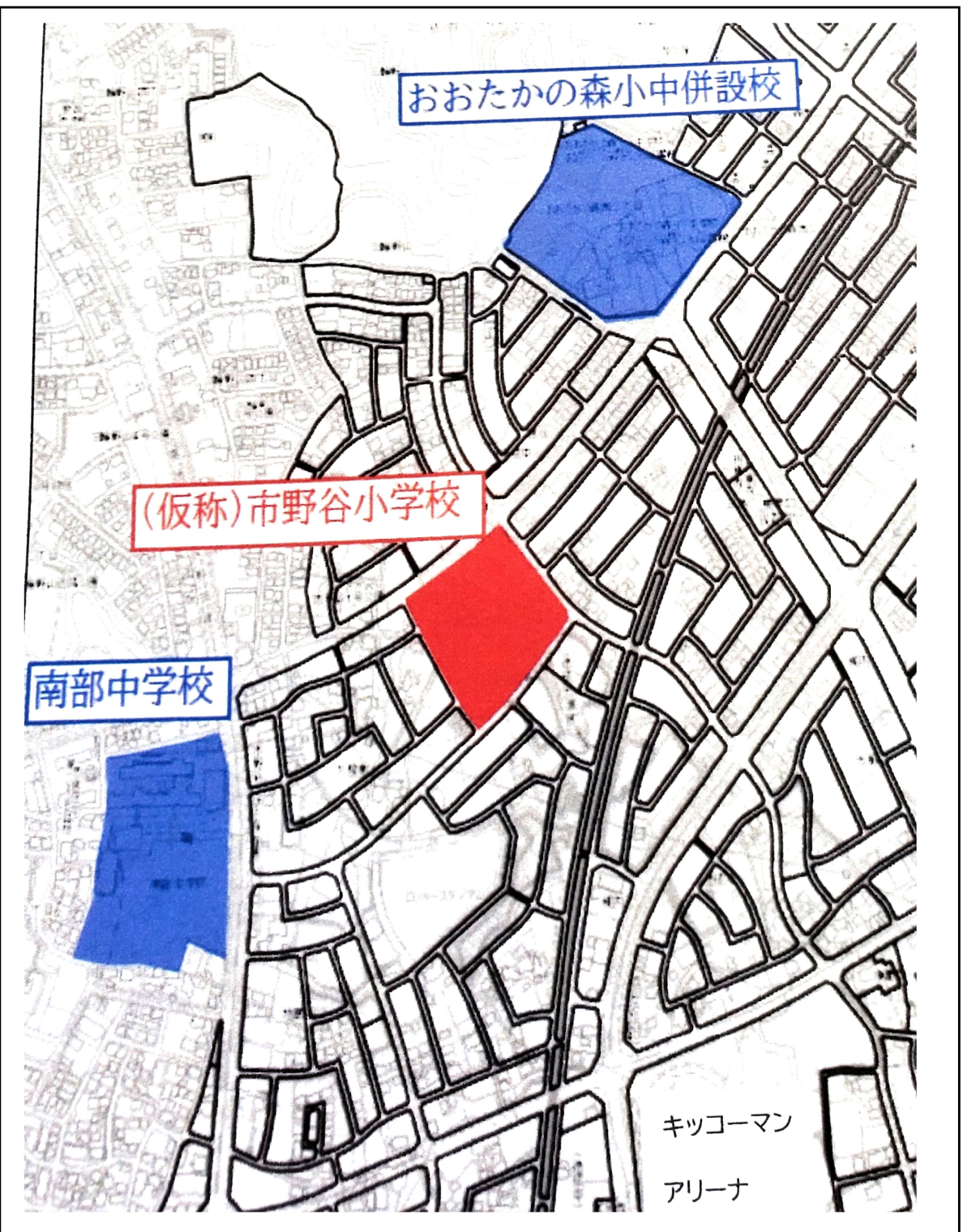
異なることは前提ですが、市政の都合で学区変更・学校移転を余儀なくされるおおぐろの森中学校及び南流山中学校は、学校から直線距離で1.

中学校	許可距離	利用台数
南部	1.5 ^キ	211
常盤松	1.5 ^キ	56
北部	1.5 ^キ	80
東部	1.3 ^キ	158
東深井	2.0 ^キ	31
八木	制限なし	361
南流山 (移転前)	認めていない	0
西初石	1.5 ^キ	17
おおたかの森	1.7 ^キ	191
おおぐろの森	?	?



流山市議会議員

小田桐たかし



学区変更でまたも、大混乱か

日本共産党は、市長の無計画な学校建設に対し、子どもの学校生活や友人関係も守り、かつ学区変更に伴う混乱や事務の多忙化等を回避するため、おおたかの森地区の新設校建設計画、南流山小学校の新設小学校配置計画に対し、次の提案を行っています。（詳しくは、市議団10日まで）また、学校開設後も、地域における教育懇談会を適宜開催する計画です。ご要望やお問い合わせも随時受け付けています。

siindan@nagareyama-icp.jp メールをお願ひします。

新設小学校の学区案が発表されました。10月にはアンケートを実施し、来年3月に決定するスケジュールです。必ず、市教育委員会HPをご確認ください。

■**おおたかの森地区に新設される学校は小学校ではなく、おおたかの森中学校とし、おおたかの森小中併設校は、小学校単体として学校運営を行う。**

■**南流山地区で離接させる小学校は、「第1」「第2」と線引きせず、学年毎に利用施設を分け、一つの南流山小学校として学校運営を行う。**